

1. (1) $\mathbf{u} = \begin{pmatrix} 2 \\ 0 \\ -1 \end{pmatrix}, \mathbf{v} = \begin{pmatrix} 0 \\ 3 \\ 1 \end{pmatrix}, \mathbf{w} = \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ 0 \end{pmatrix}$ に対し, $\mathbf{u} \times (\mathbf{v} \times \mathbf{w}), \mathbf{v} \times (\mathbf{w} \times \mathbf{u}), \mathbf{w} \times (\mathbf{u} \times \mathbf{v})$ を計算せよ.
 (2) (1) の $\mathbf{u}, \mathbf{v}, \mathbf{w}$ に対し $(\mathbf{u} \times \mathbf{v}) \times \mathbf{w}$ と $\mathbf{u} \times (\mathbf{v} \times \mathbf{w})$ を計算し, 一致しないことを確かめよ.
2. (線形代数の教科書を参照せよ) $\mathbf{u}_1, \dots, \mathbf{u}_k \in \mathbb{R}^n$ とする.
 (1) $\mathbf{u}_1, \dots, \mathbf{u}_k$ が一次独立であることの定義を述べよ. また, $\mathbf{u}_1, \dots, \mathbf{u}_k$ が一次従属であることの定義を述べよ.
 (2) $\mathbf{u}_1, \dots, \mathbf{u}_k$ が一次独立であるとき, $i = 1, \dots, k$ に対し $\mathbf{u}_i \neq \mathbf{0}$ であることを示せ.
3. \mathbf{a}, \mathbf{u} などは全て \mathbb{R}^3 のベクトルとする. 以下を示せ.
 (1) $\mathbf{v} \times \mathbf{u} = -\mathbf{u} \times \mathbf{v}$, 特に $\mathbf{u} \times \mathbf{u} = \mathbf{0}$
 (2) $\mathbf{u} \times (\mathbf{v} \times \mathbf{w}) = (\mathbf{w} \cdot \mathbf{u})\mathbf{v} - (\mathbf{u} \cdot \mathbf{v})\mathbf{w}$
 (3) $\mathbf{u} \times (\mathbf{v} \times \mathbf{w}) + \mathbf{v} \times (\mathbf{w} \times \mathbf{u}) + \mathbf{w} \times (\mathbf{u} \times \mathbf{v}) = \mathbf{0}$ (ヒント: (2) を使う)
 (4) $(\mathbf{u} \times \mathbf{v}) \cdot \mathbf{w} = (\mathbf{v} \times \mathbf{w}) \cdot \mathbf{u} = (\mathbf{w} \times \mathbf{u}) \cdot \mathbf{v}$ (ヒント: 4/13 の講義の補題 1.4 を使う)
 (5) $(\mathbf{a} \times \mathbf{b}) \cdot (\mathbf{c} \times \mathbf{d}) = (\mathbf{b} \times (\mathbf{c} \times \mathbf{d})) \cdot \mathbf{a}$ (ヒント: (4) を使う)
 (6) $(\mathbf{a} \times \mathbf{b}) \cdot (\mathbf{c} \times \mathbf{d}) = (\mathbf{a} \cdot \mathbf{c})(\mathbf{b} \cdot \mathbf{d}) - (\mathbf{a} \cdot \mathbf{d})(\mathbf{b} \cdot \mathbf{c})$ (ヒント: (2), (5) を使う)
 (7) $\det \begin{pmatrix} \mathbf{u} & \mathbf{v} & \mathbf{u} \times \mathbf{v} \end{pmatrix} = |\mathbf{u} \times \mathbf{v}|^2$
 (8) \mathbf{u}, \mathbf{v} が一次独立であるとき, $(\mathbf{u}, \mathbf{v}, \mathbf{u} \times \mathbf{v})$ は右手系をなす (問題 6 参照)
4. 一次独立な $\mathbf{u} = \begin{pmatrix} u_1 \\ u_2 \end{pmatrix}, \mathbf{v} = \begin{pmatrix} v_1 \\ v_2 \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^2$ に対し, 2×2 行列 $A := \begin{pmatrix} \mathbf{u} & \mathbf{v} \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} u_1 & v_1 \\ u_2 & v_2 \end{pmatrix}$ を考える. \mathbf{u}, \mathbf{v} を二辺とする平行四辺形の面積は $|\det A|$ であることを示せ. $\det A > 0$ になるときと $\det A < 0$ になるときの違いは何か?
5. $\mathbf{u}, \mathbf{v}, \mathbf{w} \in \mathbb{R}^n$ とする. Cauchy-Schwarz の不等式を使って, 次の三角不等式を証明せよ:

$$|\mathbf{u} - \mathbf{w}| \leq |\mathbf{u} - \mathbf{v}| + |\mathbf{v} - \mathbf{w}|$$

6. $\mathbf{u}, \mathbf{v}, \mathbf{w} \in \mathbb{R}^3$ がこの順で右手系をなすとは, $\det \begin{pmatrix} \mathbf{u} & \mathbf{v} & \mathbf{w} \end{pmatrix} > 0$ をみたすことと定義される.
 (1) $\mathbf{e}_1, \mathbf{e}_2, \mathbf{e}_3 \in \mathbb{R}^3$ を標準基底とする. $(\mathbf{e}_1, \mathbf{e}_2, \mathbf{e}_3)$ はこの順で右手系だが, $(\mathbf{e}_1, \mathbf{e}_3, \mathbf{e}_2)$ はそうではないことを示せ.
 (2) $\mathbf{u} = \mathbf{e}_1 + \mathbf{e}_2, \mathbf{v} = -\mathbf{e}_1 + 2\mathbf{e}_2 + \mathbf{e}_3, \mathbf{w} = -\mathbf{e}_1 - \mathbf{e}_2 + 3\mathbf{e}_3$ とする. $(\mathbf{u}, \mathbf{v}, \mathbf{w})$ はこの順で右手系をなすことを示せ. この $\mathbf{u}, \mathbf{v}, \mathbf{w}$ を図示し, 教科書の図 1.4 と見比べよ.

(提出の必要はありません)

補足. 4/13 の講義では, ベクトルを $\mathbf{0} \in \mathbb{R}^n$ から延びる矢印のように捉えました. 今後の講義では, 適切な始点をその都度選ぶ必要がでてきます (平行移動してもベクトルは同じとみなす, ということは高校でもやったと思います). また \mathbb{R}^n の点を, $\mathbf{0}$ とその点を結ぶ矢印が表すベクトルと同一視したりします. 数学的にはどれも同じベクトルですが, 気分が違うわけです. その時々々のベクトルが何を表すか見極めるには, 深谷先生の教科書がやっているように, 物理的 (力学的) な視点が役立ちます.

同じものを表す記号が複数ある, というのはよくあることなので注意してください. この講義では, 行列 A の行列式は $\det A$ で, 転置行列は A^T で, ベクトルの内積は $\mathbf{u} \cdot \mathbf{v}$ で表します. 線形代数の講義ではそれぞれ $|A|, A^T, \langle \mathbf{u}, \mathbf{v} \rangle$ など (あるいは, これら以外で) 表したかもしれません. また教科書ではベクトルの長さを $\|\mathbf{u}\|$ と表していますが, この講義では $|\mathbf{u}|$ と書いています. 講義中に現れた記号は断りなく使って構いませんが, 他の記号も, それが何を表すかが明確であれば, 使っても構いません. ただし, 意味が通らない書き方はダメです. 正しい意思疎通のためには, 一般的な言い回しを使うべきです. 過去の経験上, 内積を “ \mathbf{uv} ” のように書いてしまう人が非常に多いのですが, これは意味が通りません. 過去もそうだったのですが, 今回もかなりしつこく減点しますから注意してください.

幾何入門レポート問題 1 (2018 年 4 月 13 日)

担当：境 圭一

$\mathbf{u}, \mathbf{v} \in \mathbb{R}^3, \mathbf{u}, \mathbf{v} \neq \mathbf{0}$ とし, \mathbf{u} と \mathbf{v} のなす角を θ とするとき, $|\mathbf{u} \times \mathbf{v}| = |\mathbf{u}||\mathbf{v}| \sin \theta$ を示せ. (ヒント: 4/13 の演習問題 3 (6) を使う)

(4/20 の 3 限開始時まで提出してください)

http://math.shinshu-u.ac.jp/~ksakai/18_geometry/18_geometry.html